

令和6年第3回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
1(1番) 佐々木 忠孝	1 「つくしちゃん」を活用した「筑紫野市」ブランドイメージ化の確立について	(1) 「つくしちゃん」の市民への更なる浸透方法について、市の見解を伺う。 (2) 「つくしちゃん」の名称やイラスト使用を市内事業者や農業生産者等に限り無料としては、市の見解を伺う。
2(17番) 西村 和子	1 水道料金と耐震化について	(1) 人口減少による水道料金の値上げの時期と金額について市民に見通しを示すべきではないか。 (2) 第七次総合計画の配水管の老朽管更新率目標値を36.0%とした根拠は何か。 (3) 効率よく耐震化を進めるために、AIを活用し、優先すべき老朽管を検出し更新を進めることはできないか。 (4) 水道水の安定的供給のための耐震化を早急に完了すべきではないか。 (5) 市民に水道事業推進の協力者になっていただくための見学会やワークショップなどを実施すべきではないか。
3(14番) 八尋 一男	1 帯状疱疹ワクチン予防接種について	(1) 帯状疱疹ワクチン予防接種の助成を行っている自治体数はどの位か。また近隣自治体はどこがあるか。 (2) 予防接種や症状等をホームページに掲載している自治体もあるが、当市でも掲載してはどうか。 (3) 予防接種費用の助成を多くの自治体が行っているが本市も取り組むべきではないか。市長に尋ねる。
	2 竜岩自然の家指定管理者制度導入について	(1) 市内外利用者の使用料格差がない理由について、規約などに基づく説明を求める。 (2) 老朽化している施設・設備の改修工事について、令和7年度以降の予定はどうなっているか。 (3) 市内7か所が指定管理者制度を導入していることから、竜岩自然の家に指定管理者制度を導入してはどうか。
4(2番) 古賀 新悟	1 地域経済の活性化について	(1) 依然として、中小零細業者やそこに従事する労働者の生活は悪化しているが、本市としての施策を尋ねる。 (2) 以前の質問で公契約条例制定について、今後の動向を注視するとの答弁だったが、現在の見解を尋ねる。
	2 子どもの医療費18歳まで無料化について	(1) 子どもの医療費は、18歳まで完全無料にすべきと考えるが本市の考えを尋ねる。
5(7番) 坂口 勝彦	1 フューチャー・デザインの積極的な活用について	(1) 持続可能なまちづくりに向けて、フューチャー・デザイン手法を積極的に活用しては。 (2) フューチャー・デザイン手法を政策立案に取り入れるための組織を整備しては。
	2 食品ロス削減への取組について	(1) 飲食店や小売店を消費者とマッチングさせるサービス等、フードシェアリングの展開を支援しては。
6(6番) 檜木 孝一	1 市民の熱中症対策について	(1) 熱中症特別警戒アラートの運用が開始されたが、熱中症から市民の生命を守るための取組方針を問う (2) 市民への広報及び情報発信の強化をどのように考えているのか。 (3) 在宅の高齢者・障がい者が熱中症にかからないようにするためにどのような取組を行っているのか (4) 高齢者・障がい者が躊躇なくエアコンを使用することができるように電気料金の一部を補助すべきでないか。

令和6年第3回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
7(3番) 春口 茜	1 ひとり親とこどもの 養育支援について	(1) 離婚に関する相談件数はどの程度か(男女の割合含)
		(2) ひとり親に対して生活状況アンケートを実施しては
		(3) 児童手当、児童扶養手当の支給を毎月にするべきでは
		(4) 児童手当の受取先は原則こどもの口座、もしくは両親の合意のもと主として養育する者の口座に指定すべきでは
		(5) 離婚後の養育計画や養育に関する合意書の作成を求め離婚時のサポートを強化しては
		(6) 面会交流のサポートをするべきでは
		(7) こどもの養育費に関する条例を制定し養育費を支払わない者に対して保護責任者遺棄罪と同等の措置を講じては
	2 ひとり親の自立支援 について	(1) 母子父子寡婦福祉資金の制度の周知をするべきでは
		(2) 母子父子寡婦福祉資金の保証人を2人から1人にするよう県に求めている
		(3) 介護士、看護師、保育士の資格を新しく取得するひとり親に対して市独自で奨励金を支給しては
		(4) 送迎対応病児保育事業を導入すべきでは
	3 ドメスティック・バイオレンス根絶の取り組みについて	(1) DVの相談件数は
		(2) 本市にはDVを根絶する取り組みは何かあるのか
		(3) DV加害者更生プログラムを実施しては
8(8番) 山本 加奈子	1 市民活動・絆づくり 推進について	(1) 地域コミュニティや市民団体等が行う、地域の困り事解決の活動に対し補助金の相談がある場合の対応は。
		(2) 市民活動・絆づくり推進事業として補助金を創設してはどうか。
		(3) 財源として、「ふるさと納税」を活用してはどうか。
		(4) 市民活動応援クラウドファンディング事業への市の見解は。
	2 生きがいづくり・介護 予防の推進について	(1) 高齢者の社会参加の推進として「通いの場」の現状と介護予防の観点を取り入れた活動状況は。
		(2) 知識や経験を生かした就労やボランティア等活動の機会拡充と自身の状況に応じた社会参加支援の状況は。
		(3) 介護保険制度を活用したボランティアポイントを導入してはどうか。

令和6年第3回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
9(12番) 前田 倫宏	1 自治体D X (デジタルトランスフォーメーション) について	(1) 新たに設置されたD X推進担当の業務内容と、D X推進の具体的な取り組みは。
		(2) 近隣市に比べ、自治体D Xの推進体制等が未実施であるが、今後の取り組みは。
		(3) 市民サービスの向上を図るため、「リモート窓口」や「書かない窓口」等の取り組みを検討すべきでは。
	2 待機児童問題と対策について	(1) 就業率の上昇や子育て世帯の人口増に伴い、さらに保育の需要が高まると考えるが、この問題と対策の見解は。
		(2) 保育環境の改善や保育士の処遇改善が必要と考えるが、今後の取り組みは。
		(3) 「こども誰でも通園制度」及び「保育所の一時預かり」の定員及び施設等の拡充に関する検討状況は。
	3 教育相談体制について	(1) 中学校区にスクールソーシャルワーカーを1名ずつ配置するべきと考えるが、見解は。
		(2) 近隣市でスクールソーシャルワーカーの賃金格差が大きいため、処遇改善が必要と考えるが、見解は。
		(3) 対面によるカウンセリングが実施できない場合、オンラインの活用で支援に繋がると考えるが、見解は。
10(16番) 宮崎 吉弘	1 本市公式ラインアカウント利用の推進について	(1) 市のLINE公式アカウントの活用によりどのような効果や課題があるか。
		(2) 本市の公式ラインアカウントの登録者数は。
		(3) 公式アカウントを通じた小中学校の欠席連絡等も行っている自治体があるが、本市の考えは。
		(4) 公式ラインアカウント利用の更なる拡大、周知啓発を強化すべきでは。
	2 気象防災アドバイザーの活用について	(1) 線状降水帯の早期発生予測が、先月より発表されているが、本市はどのような対応をされるのか。
		(2) 国土交通大臣が委嘱する気象防災アドバイザーを積極的に活用しては。
11(10番) 段下 季一郎	1 不登校児童生徒への支援について	(1) 不登校で健康診断が未受診の児童生徒の健診費用を助成すべきと考えるが市の見解は。
		(2) 不登校児童生徒に共同調理場を活用した食事提供を実施すべきと考えるが市の見解は。
	2 高齢者福祉の充実について	(1) 市や公共施設等の窓口で軟骨伝導イヤホンを導入すべきと考えるが市の見解は。
		(2) コミュニティカフェ運営の補助制度を創設すべきと考えるが市の見解は。
		(3) 認知症カフェ運営の補助制度を創設すべきと考えるが市の見解は。
		(4) 認知症高齢者の当事者意見を反映する取り組みを行うべきと考えるが市の見解は。
	3 主権者教育について	(1) 「給食の献立」や「修学旅行の行先」を決定する模擬投票を行うべきと考えるが市の見解は。
12(9番) 吉村 陽一	1 インターネット上の人権侵害・誹謗中傷対策について	(1) 情報流通プラットフォーム対処法が成立したが悪質な投稿の削除要請に関する情報収集をどう行っているか
		(2) インターネット上における人権侵害等の相談体制を充実すべきではないか
		(3) 部落差別解消推進条例にインターネット上での差別禁止を追加する条例改正を検討してはどうか
		(4) 学校でのメディアリテラシー教育の現状と充実は

令和6年第3回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
13(18番) 辻本 美恵子	1 自治体におけるDXの取り組みについて	(1) 筑紫野市でのDXの取り組みの進め方はどのようなものか。
		(2) 市民生活にどのような影響があり貢献するのか。
		(3) 市民の間にあるデジタルデバイドについてどのように考えているのか。
	2 住民のための「公共」について	(1) 「全体の奉仕者」としての公務員とはなにか。
		(2) 筑紫野市における正規職員と非正規職員の数は適正か。
		(3) 正規職員と非正規職員の処遇の改善はどのように進められているか。
		(4) 住民のための公共サービスを提供する体制の改善をどのように考えているか。
14(5番) 赤司 祥一	1 高速バス乗り場筑紫野停留所周辺整備について	(1) 西鉄やJR九州、NEXCO西日本などの民間と連携して高速バス筑紫野停留所周辺を整備すべきでは。
		(2) 高速バス筑紫野停留所で乗降車できる高速バスの旅行や通勤における利便性をもっとPRすべきでは。
	2 小学校区の登下校見守り活動について	(1) 自治会や各小学校PTAによる危険箇所等での登下校見守り活動における課題をどのように捉えているか。
		(2) 本市よりシルバー人材センターへ登下校の見守りを委託する地域の基準はどのようになっているか。
		(3) 登下校の見守り役が少なくなっている二日市小学校区でもシルバー人材センターへ委託できないか。
		(4) 11校区全体において小学生の安全確保のため登下校見守り活動を抜本的に見直す必要があるのでは。
15(15番) 田中 允	1 カミリーヤのグラウンド整備について	(1) 健康福祉部健康推進課の管轄にある総合保健福祉センターのグラウンドの設置目的は何か。
		(2) 高齢者が健康推進やコミュニケーションの場に活用しているグラウンドゴルフ場の整備はどのようにしているか。
	2 定額減税について	(1) 定額減税の実施にあたり、市の事務や経費はどのくらい増えたか。
		(2) 市に対する波及効果はどのように捉えているか。
	3 JT跡地の買取不調後の施策推進について	(1) JT跡地の取得目的は何だったのか。
		(2) JTに対して70億円の価格提示をされていたがその根拠は何か。
		(3) 取得目的達成のためにはJT跡地よりも安価で立派な土地があると思うが如何か。
		(4) 農トレの体育館や野球場またテニスコートがある地域と一体化して筑紫野市総合スポーツゾーンにしては。